



マスコットキャラクター
EMMA(エマ)ちゃん

2020年12月期 第1四半期 決算説明資料



株式会社 EMシステムズ

EM SYSTEMS CO., LTD.

(東証一部:4820)

I. 『市場環境と当社の取り組み』

- i. 市場環境
- ii. 新型コロナウイルスの影響と取り組み
- iii. 当社の取り組み

II. 『2020年12月期 第1四半期 決算概況』

- i. 決算ハイライト
- ii. 連結業績推移／会計年度別
- iii. 貸借対照表サマリー
- iv. セグメント別 売上高／営業利益
- v. セグメント別 売上高内訳
- vi. 調剤システム事業（四半期別/移動年次総計）
- vii. 医科システム事業（四半期別/移動年次総計）
- viii. 今後の見通し（連結業績）
- ix. 当社シェアならびにお客様数
- x. 株主還元

添付資料 共通情報システム基盤

新型コロナウイルスに対する当社の取り組み



新型コロナウイルス感染症(COVID-19)被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い収束と、皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

医療（クリニック・薬局）、介護/福祉業界をシステムを通じてサポートしていく当社としましては、お客様と従業員の健康と安全、そして業務面への影響を最小限に止め、緊急事態宣言発令下でも安定したシステム供給とサービスを継続してご提供するため、下記の取り組みをEMシステムズグループ全体で実施しております。

- 勤務環境について
時差出勤、在宅勤務、Web会議、モバイルワークの活用、三密を避けたオフィス環境の構築
飛沫防止スタンドの各座席への設置、マスク着用、消毒等の徹底
電子化の推進等出社せずとも業務ができる働き方改革の実施
- 営業活動について
Webや電話を活用した営業活動

薬局市場

- 新型コロナウイルスの影響により、来局数の減少と処方の長期化による処方箋枚数の減少
- 新型コロナウイルスへの対応による遠隔服薬指導及びお薬の配達が増加
- 薬局内の業務の効率化に焦点 : 薬歴入力及び処方箋入力の効率化
- 2020年4月 診療報酬改定の影響 : 敷地内薬局等、特定の医療機関からの処方箋集中率の高い薬局、枚数の多い薬局、チェーン薬局に影響
- 薬局事業環境の変化により、各社M & A等の組織再編成を急ぐ
- 薬剤師以外のピッキングや一包化「薬剤師の指示に基づく」実施が可能
(厚生労働省医薬・生活衛生局総務課は2019年4月2日付で、都道府県宛に通知)
ロボットやAIの導入による自動化の投資が進行

医科市場

- 新型コロナウイルス感染症の影響で、一部診療所の診療科目で受診を控える動き
- 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、オンライン診療制度を初診から適用(特例措置)
- 診療所における電子カルテ普及率 4割超
⇒ 新規開業の多くは電子カルテを導入、クラウド電子カルテの検討も

介護/福祉市場

- 病院の入院ベッド数の削減と、社会の高齢化に伴う新規施設の増加による成長市場
⇒ 儲かるしくみの導入・・・ロボット/システム投資
- 短期的には、新型コロナウイルス感染拡大により通所介護や短期宿泊施設の臨時休業が増加
- 大規模チェーン介護施設の増加
- 介護記録の需要が増加

I . ii . 新型コロナウイルスの影響と取り組み

【新型コロナウイルスの想定マイナス影響】

- 各事業の取引先の大部分が休業要請対象外であるものの、対面による営業活動が減少
- 新規開業予定先の機器導入・開業時期の見直し
- 学会・展示/商談会の延期、対面による各製品のP R 機会の減少



より強化

【今後の成長に向けた取り組み】

- 活動環境に左右されない営業スタイルの改革
- P R 機会の減少を充足できる、Web上でのお客様向け体験企画・マーケティング活動
- お客様向けにシステムの構成や比較・検討用ツールの提供

マーケティング戦略

- 医師専用コミュニティサイト「MedPeer」を活用したマーケティング活動
- ケアマネジャー向け専門サイト「ケアマネジメント・オンライン」を活用したWebマーケティング
- オンラインデモンストレーション、お試し版ダウンロード、Web面会などを活用した非対面セールス活動
- BtoB ECサイト「MAPsダイレクト」によるお客様自身での見積・構成検討を可能に

オンラインデモンストレーション

MAPS ダイレクト



お客様のお手元にあるオンライン環境のPCから
簡単にデモンストレーションを体験していただけます。

無料お試し版を申し込む



お見積りを作成する



お客様ご自身がオンラインで概算のお見積りを作成いただけます。

※オンラインお見積りは、パソコン版の表示になります。

スマートフォンでは正常に表示されない場合があります。

営業戦略

- 介護チェーン専門の営業体制を再編成、エムウィンソフトの資産を活かし、介護/福祉市場のチェーン事業所へのビジネスを積極展開
- 新本部システムの拡販 ： 他社システムとの連携可能
- OEM、代理店などの販売チャネルの拡大
- M&Aの活用
- シーエスアイ社と連携し、病薬連携の実現に向けた活動
- 組織再編 ： 非対面営業の充実
- ハードウェア直販の脱却にともない、ビズネット社とのパートナーシップを拡充
- ヤクメド（MedPeer） ： MAPs for PHARMACYとの連携開始

経営体制の拡充

- 新社長就任
- 新組織 : グループ経営を意識した会議体制構築、女性役員の登用、経営体制の若返り、多能工職員の活用
- 働き方改革 : 感染対策を行いながらの活動
- 開発子会社の設立 : 開発人材の確保、育成、開発業務の透明化(EMテクノロジー研究所)
- 自社株買いの実施中 : 上限5億円 (上限60万株)

I . iii . 当社の取り組み

開発活動

- リリース済みの MAPs for CLINIC、MAPs for PHARMACYの機能拡張による製品競争力の強化
- 介護/福祉システム MAPs for NURSING CAREの開発
- 共通エンジンのOEM提供による業界の標準化及びコストダウンへの貢献 : 同業他社への展開
- 薬局向け新本部システムで既存システムに加えて、MAPsシリーズ及び他社システムとの連携が可能に

社会貢献活動

- 伊達公子×YONEX PROJECTへのスポンサー参加
- 東京大学「医療 A I 開発学」講座への寄付



Ⅱ. i. 決算ハイライト

2020年12月期 第1四半期 連結業績

	2020年3月期 第1四半期	2020年12月期 第1四半期	前年同期比
売上高	3,284 百万円	2,928 百万円	△10.8%
営業利益	543 百万円	262 百万円	△51.8%
経常利益	707 百万円	412 百万円	△41.7%
当期純利益	472 百万円	297 百万円	△37.0%

2020年12月期 第1四半期 トピックス

- ☐ 新型コロナウイルス感染拡大の影響によりシステム新規販売件数が減少
- ☐ お客様数が増加したものの、長期処方により処方箋枚数が減少し、課金売上高が微減(調剤セグメント)
- ☐ スtock売上の順調な増加 (医科・介護セグメント)
- ☐ MAPsの本格稼働により減価償却費が増加

Ⅱ. ⅱ. 連結業績推移／会計年度別(単位:百万円)

『フロー型』

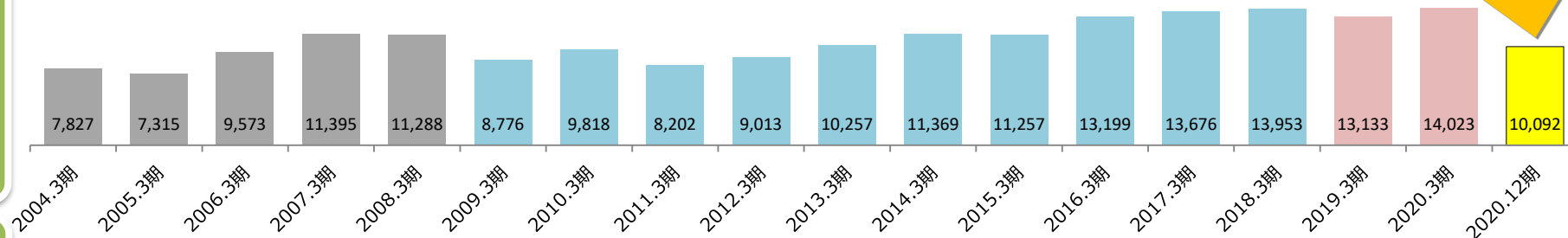
『一部ストック型』

『完全ストック型』

単位:百万円

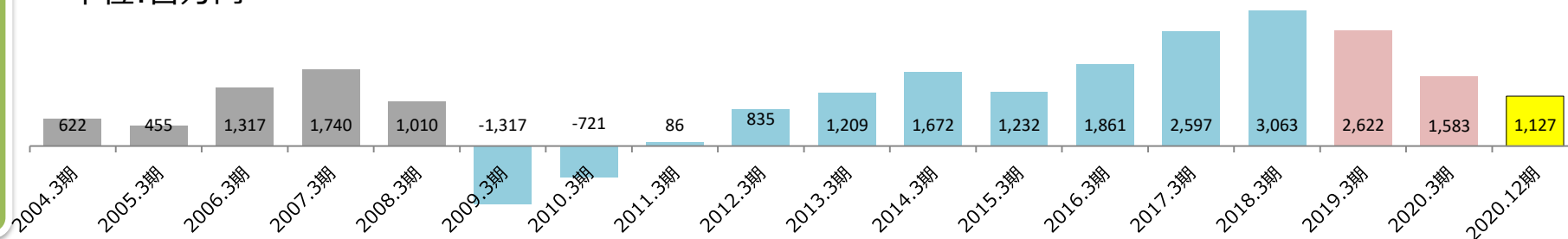
決算期変更により、2020年度は9ヶ月決算

売上高

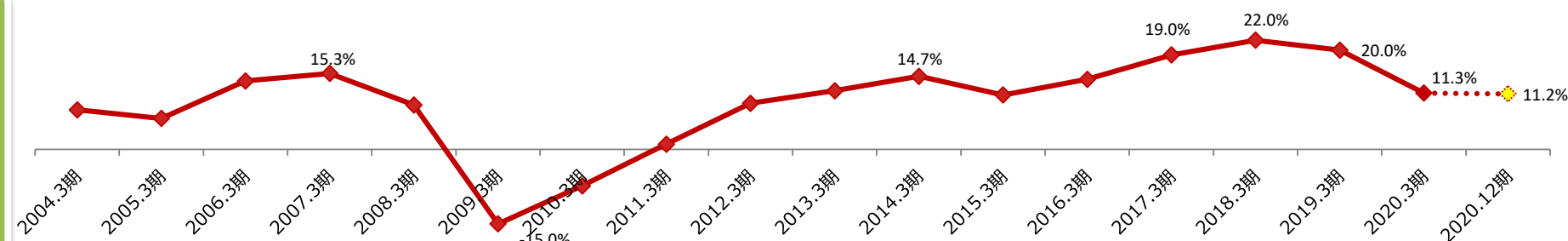


単位:百万円

営業利益



営業利益率



Ⅱ. iii. 貸借対照表サマリー(単位:百万円)

	2020年3月期	2020年12月期 第1四半期末	増減額	増減比	主 な 増 減 額
資産の部	23,445	22,789	△656	△2.8%	
流動資産	11,556	10,979	△577	△5.0%	現金及び預金 . . . △432 百万円 受取手形及び売掛金 . . . △536 百万円
固定資産	11,888	11,809	△78	△0.7%	
有形固定資産	1,747	1,702	△44	△2.6%	
無形固定資産	2,532	2,525	△6	△0.3%	ソフトウェア . . . △94 百万円
投資その他の資産	7,609	7,582	△26	△0.4%	ソフトウェア仮勘定 . . . 114 百万円
負債の部	5,754	5,211	△542	△9.4%	
流動負債	3,816	3,285	△530	△13.9%	
固定負債	1,937	1,925	△12	△0.6%	支払手形及び買掛金 . . . △287 百万円
純資産の部	17,691	17,577	△113	△0.6%	未払金 . . . △156 百万円
株主資本	17,625	17,561	△63	△0.4%	未払法人税等 . . . △74 百万円
その他の包括利益 累計額合計	△26	△39	△13	52.2%	
新株予約権	91	55	△36	△39.6%	

Ⅱ. iv. セグメント別 売上高／営業利益

(百万円)

	2020年3月期 第1四半期		2020年12月期 第1四半期					
	売上高	営業利益	売上高			営業利益		
			実績	増減額	増減率	実績	増減額	増減率
調剤システム事業	2,458	487	2,232	△226	△9.2%	300	△186	△38.3%
医科システム事業	416	59	393	△23	△5.6%	△ 15	△75	-
介護システム事業	169	△ 34	117	△52	△30.7%	△ 38	△4	12.2%
その他の事業	266	50	193	△73	△27.5%	6	△44	△87.9%

※ セグメント別の売上高及び営業利益又は営業損失は、セグメント間の内部取引消去前の金額であります。

調剤システム事業・・・新型コロナウイルス感染拡大の影響によるシステム販売件数の減少

処方の長期化による処方箋枚数が減少し、課金売上高が微減

医科システム事業・・・MRNのお客様数が着実に増加。それに伴う課金売上も順調に増加したものの、新規システム販売件数が減少

MAPsの本格稼働により減価償却費が増加

介護システム事業・・・新型コロナウイルス感染拡大の影響で営業活動が大幅に制限され、新規システム販売件数が減少

その他の事業・・・スポーツジム及び保育園の閉鎖、貸会議室の予約キャンセルを受け、収益が減少

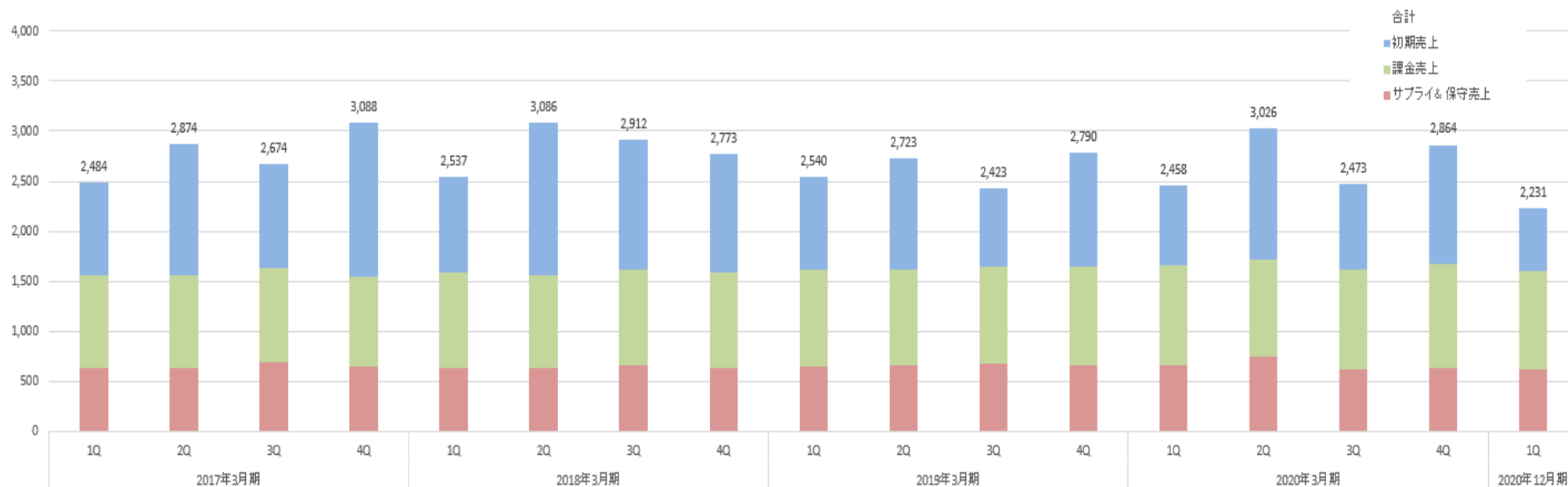
Ⅱ. v. セグメント別 売上高内訳

	(百万円)			
	2020年3月期 第1四半期	2020年12月期 第1四半期	増減額 (前期比)	増減率 (前期比)
売上高	3,284	2,928	△356	10.8%減
調剤システム事業	2,458	2,232	△226	9.2%減
(内 初期売上)	801	630	△171	21.4%減
(内 課金売上)	989	988	0	0.1%減
(内 サプライ売上)	504	432	△72	14.4%減
(内 保守売上)	162	181	19	11.7%増
医科システム事業	416	393	△23	5.6%減
(内 初期売上)	189	148	△41	21.7%減
(内 課金売上)	132	154	21	16.5%増
(内 サプライ売上)	23	15	△8	37.0%減
(内 保守売上)	70	75	4	6.7%増
介護システム事業	169	117	△52	30.7%減
(内 初期売上)	79	9	△69	87.9%減
(内 課金売上)	9	31	21	222.5%増
(内 サプライ売上)	0	0	0	—
(内 保守売上)	81	76	△4	5.4%減
その他の事業	266	193	△73	27.5%減
調整額	△28	△8	19	68.4%減

※セグメント別の売上高は、セグメント間の内部取引消去前の金額であります。

Ⅱ. vi. 調剤システム事業

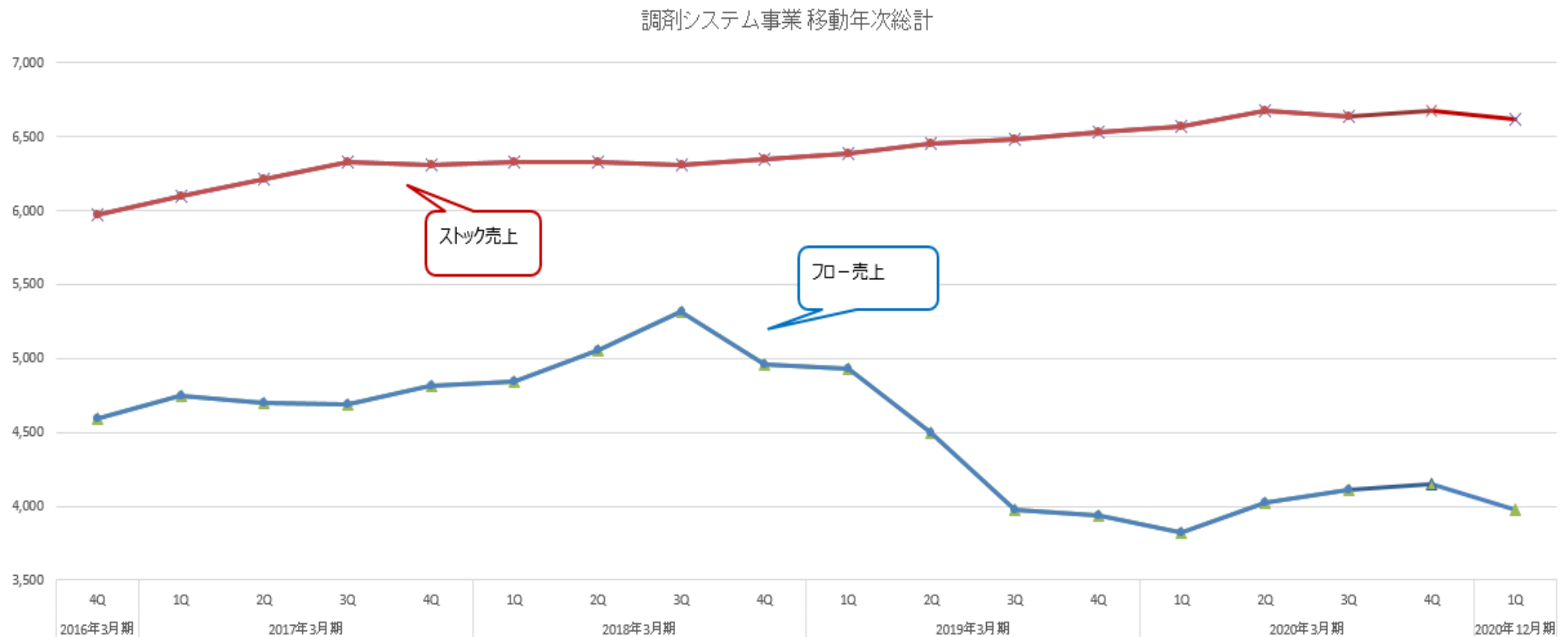
四半期別売上推移（単位：百万円）



	2017年3月期				2018年3月期				2019年3月期				2020年3月期				2020年12月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
初期売上	920	1,319	1,037	1,536	953	1,532	1,297	1,179	919	1,102	776	1,144	801	1,304	858	1,186	629
課金売上	928	925	951	910	946	920	948	964	969	964	972	987	989	981	995	1,039	988
サプライ&保守売上	636	630	686	642	638	634	667	630	652	657	675	659	668	741	620	639	614
合計	2,484	2,874	2,674	3,088	2,537	3,086	2,912	2,773	2,540	2,723	2,423	2,790	2,458	3,026	2,473	2,864	2,231

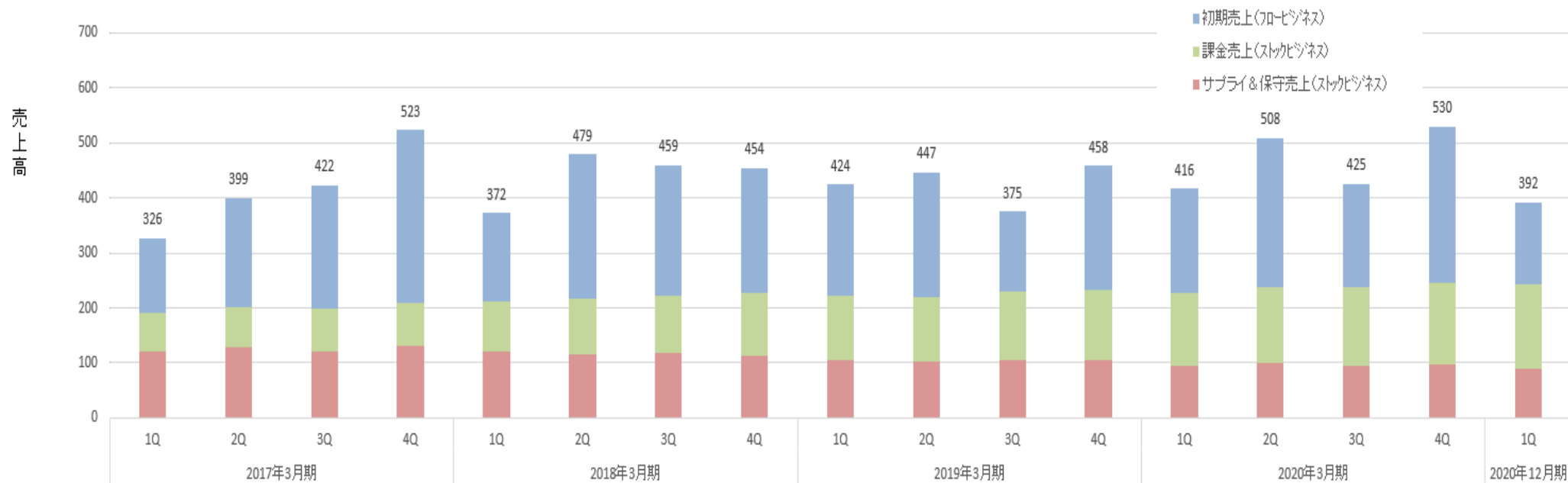
Ⅱ. vi. 調剤システム事業

移動年次総計（単位：百万円）



Ⅱ. vii. 医科システム事業

四半期別売上推移（単位：百万円）

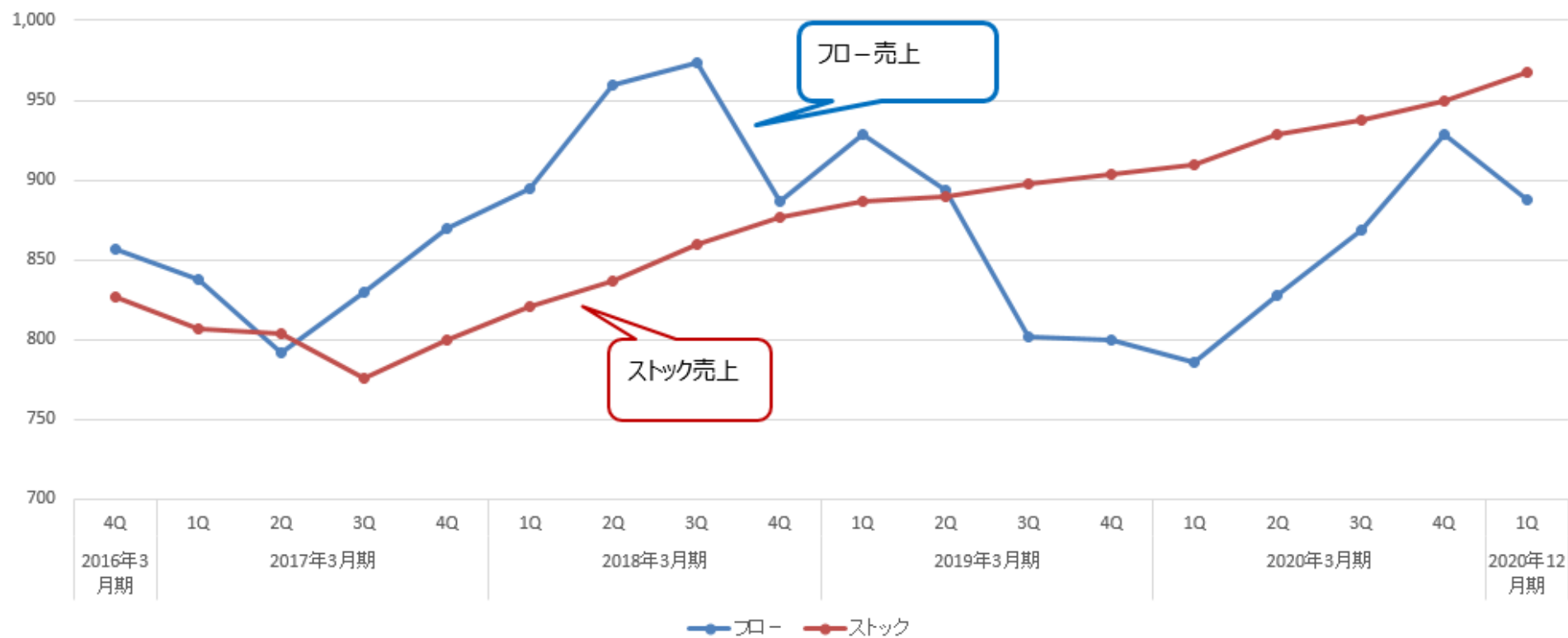


	2017年3月期				2018年3月期				2019年3月期				2020年3月期				2020年12月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
初期売上	136	198	223	313	161	262	237	227	203	227	145	225	189	269	186	285	148
課金売上	70	73	78	80	91	101	104	113	115	118	126	127	132	139	145	149	154
サプライ&保守売上	120	128	121	130	120	116	118	114	106	102	104	106	95	100	94	96	90

Ⅱ. vii. 医科システム事業

移動年次総計（単位：百万円）

医科システム事業 移動年次総計



Ⅱ. viii. 今後の見通し(連結業績)

(百万円)

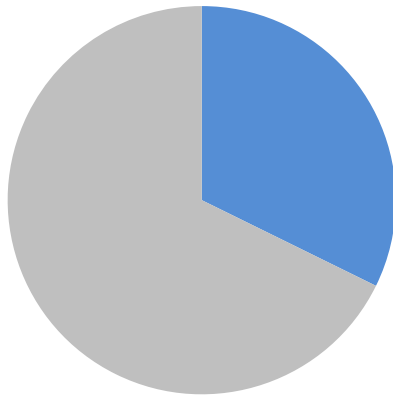
	2020年3月期 実績	2020年12月期 通期予想
売上高	14,023	10,092
調剤システム事業	10,823	7,378
医科システム事業	1,881	1,802
介護システム事業	497	332
その他の事業	934	656
調整額	△ 114	△ 77
営業利益	1,583	1,127
調剤システム事業	1,667	1,009
医科システム事業	161	413
介護システム事業	△ 348	△ 330
その他の事業	127	68
調整額	△ 24	△ 33
経常利益	2,179	1,556
当期純利益	1,393	1,082

※セグメント別の売上高及び営業利益又は営業損失は、セグメント間の内部取引消去前の金額であります。
 ※当社は2020年度より決算期を3月31日から12月31日に変更を予定しております。

Ⅱ. ix. 当社シェアならびにお客様数

調剤システム

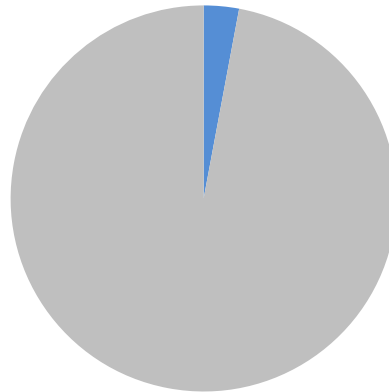
シェア 32.4%



当社お客様 : 16,233件
対象母数 : 50,000件
中期計画目標 : 25,000件

医科システム

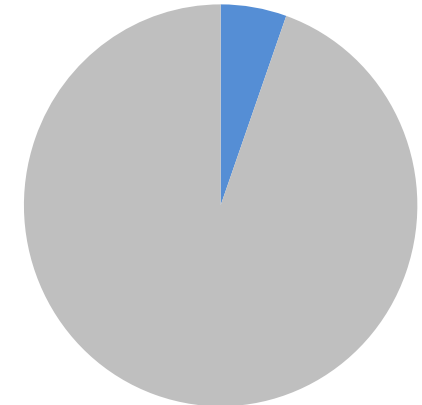
シェア 3.1%



当社お客様 : 2,812件
対象母数 : 90,000件
中期計画目標 : 10,000件

介護/福祉システム

シェア 5.5%



当社お客様 : 13,779件
対象母数 : 250,000件
中期計画目標 : 10,000件

※1 当社お客様件数は当社が販売しているシステム製品のお客様数になります。

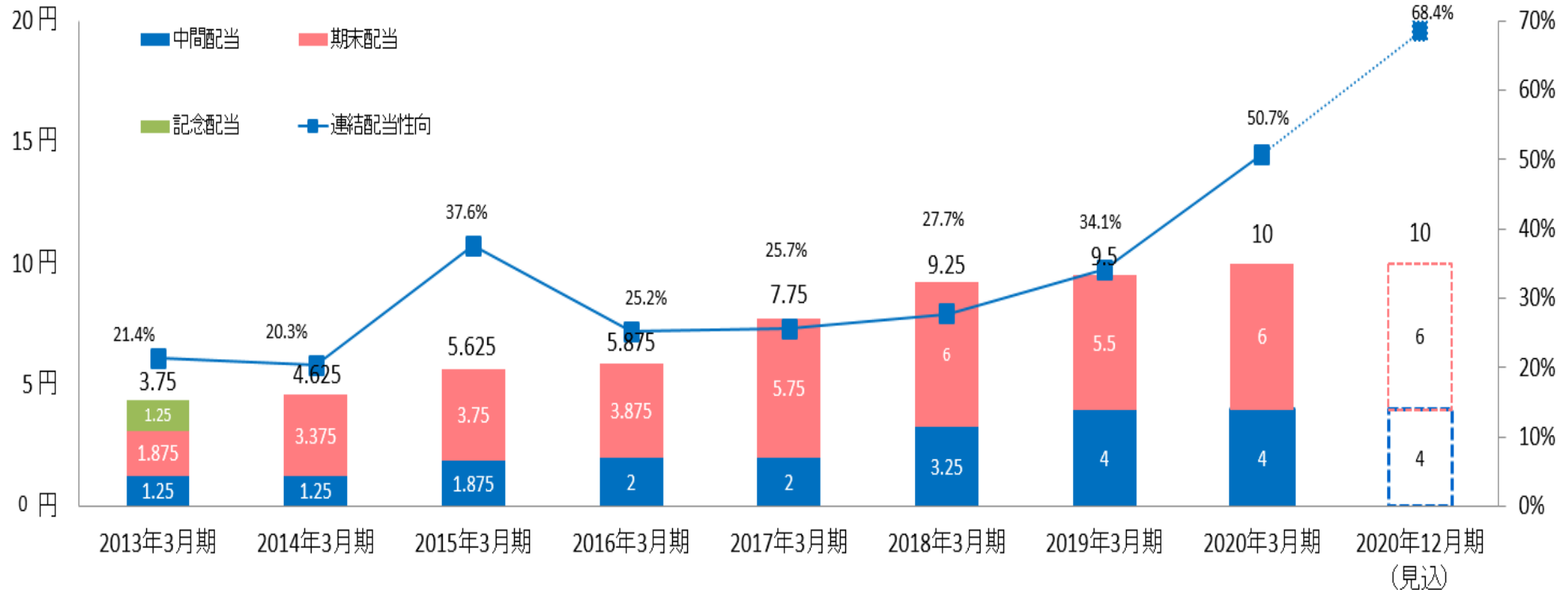
※2 調剤・医科の対象母数は、当社が製品販売先としての対象数を独自に設定したものであり、実際に登録されている薬局数、診療所数とは異なります。

※3 中期計画目標は、2018年5月に公表したものです。

(2020年6月30日現在)

Ⅱ.x.株主還元

- ・ROEを重視しつつ、配当性向 30% を目標
- ・2020年度より決算期を3月31日から12月31日へ変更



※1 当社は、2016年4月1日付け、2018年3月1日付け及び2020年1月1日付で、普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。上記では2013年3月期の期首にそれぞれの株式分割が行われたものと仮定して表記しております。



◇ お問い合わせ先

株式会社 E M システムズ
総務部 IR担当

ご質問・お問い合わせ先:

<https://emsystems.co.jp/ir/mailform.html>



本説明資料に記載されている内容は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。将来発生する事象等により内容に変更が生じた場合も、当社が更新や変更の義務を負うものではありません。

また、本資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、多分に不確定な要素を含んでいるため、実際の業績等は、様々な要因により、大きく異なる可能性があることをご了承ください。